

《冒頭 3秒沈黙》

※ S E .. チャイム

※ S E .. ドアの音

お疲れ様です。

あ、ごめんなさい、驚かせちゃいました？。

ふふ。

随分集中してたみたいで。

それにしても…。

デッサン、上手くなりましたね。

ええ、初心者から始めてこれはすごいですよ。

この調子なら、私なんてあつという間に追い越しちゃいますね。

《一呼吸置いて》

ところどころの間の話、考えてくれました？

ヌードモデルの件。

勿論、本気ですよ。

昔から、男性の体って興味があつたので。

《照れながら》

あらやだ、何だかすこくえつちな事を言つていますね。

でも描いてみたかったのは本當で。

ほら、男性の体つてごつごつとして、筋肉質で、女性と全然違いますから。知的好奇心、つて奴です。

だけど私、男性の知り合ひつていませんし。

：誰にでも頼めるわけではありませんから。

勿論、無理にとは言いません。
けど…どう、でしようか？

《3秒沈黙》

本当ですか…！？

ありがとうございます！

ああうれしい…！

では早速始めましょう！

ええ今からです！

気が変わつてしまわない内に。

あ、でも…ここは廊下から丸見えですし。
準備室、行きましょうか。

さ、早く早く。

《含みを持たせた笑み》

ふふふ。

《5秒沈黙》

※SE：カーテンを閉める音。

ふふ、そんなに恥ずかしがらないでください。
ほら、美大ではヌードモデルなんてよくある話ですし。
だから、ね？

※SE：衣擦れ

《3秒沈黙》

あら…あらあら。

…あ、すみません。茶化すつもりではなくて。

ただ、意外と勢いよく脱がれるので。
男らしいなと思つたんです。

…本当ですよ？

※S E .. 衣擦れ

え？ いいえ、そんな。

引き締まつていてとても素敵だと思います。

それに…もっと細身と思つてましたが。
とても男性的で。

その…。

見惚れてしまします。

※S E .. 衣擦れ

…ええ、ヌード、ですので。

全部。

脱いで下さい。

《一呼吸おいて》

どうされました？
あとパンツだけ…。

…あ。

そういう事ですか…。

ふ、ふふふ。

興奮、しちやつたんですか？

『一呼吸おいて』

いえ、そんな。

謝らないでください。

何も悪い事はしてないです。

それに…。

つまりは、私に性的な魅力を感じている、という事ですよね？

嬉しいです。

そういう風に見て頂けて。

『3秒沈黙』

あの、良かつたら。

その大きくなつた物…。

触つてもよろしいでしようか？

『一呼吸おいて』

ほら、描くのに質感つて大事ですかから。

私は…今まで男性のを触れた事がありませんので。

『3秒沈黙』

ふふつ。

いえいえ。こちらこそ。

よろしくお願いいたします。

では…パンツ

脱がせちゃいますね。

※S E・衣擦れ

きやつ…！

あ、いえ…予想よりも大きかったので。

今が…勃起、してる状態ですかね？
こんなに大きくなるんですか…。

あ、先端から何かが…。

※SE..水音

あ、すみません、痛かったですか？
びくつて動きましたけど。

違う？
気持ちよかったです。

ああ…こうやって、ヌルヌルを広げられるのが、ですか？

※SE..手コキ←

これは精子…とは違いますよね？

…我慢汁？

≪一呼吸おいて≫

なるほど…。これでおちんちんをぬるぬるにして。
セックスの準備をしているわけですね。

女性の中にすっと入るようになります。

そう考えると人間の体ってエッチにできますよね。
最適化されてるというか。

子供を作るために細かいところまで行き届いてるんだな、って。

≪一呼吸おいて≫

あら…なんだか随分と余裕がなくなっていますけど。

そんなに気持ち良いのですか？

手でゆっくり刺激してるだけなのに。

やばい？

すごくいい？

ふふふ。

いやらしい人。

腰、ぴくぴく動かして。

我慢汁もだらだら出しちゃって…。

それに、先っぽも…こんなに膨らませて。

《匂いを嗅ぐ》

すんすん。

濃い香り…。

いつからこんなに大きくされていたんですか？
服を脱いだ時にはもうビンビンでしたよね。

《一呼吸おいて》

《微笑みながら》

私が話しかけた時から、ですか？

あらあら…ふふふ。

正直な方ですね。

もしかして、私といる時はいつも…。
おちんちん。

大きくされてます？

『一呼吸おいて』

あらあらあらあら。
いけないです。

あ、でも…そういうえば。

私と話している時も。

視線はしそよつちゅう胸元や足にいつてました、よね？

『笑いながら』

勿論、気づいてましたよ。

そういう視線って、見られてる本人には分かる物ですかから。

私が絵を教えている間も。

あなたは頭の中で私を犯して、つて事ですか。

つまり…。

『一呼吸おいて』

いえ、謝らないでください。

不快になんて思つていません。

むしろ…もつと見ても良かつたんですよ？

私は…あなたにエッチな目で見て貰えて、とても嬉しいんです。
女としての喜び、という物でしょうか。

ふふ。

エッチなのはお互い様、ですね。

『一呼吸おいて』

はい？
いきそう？

精子、出したいんですか？

※S E・手コキ→

まだダメです。

まだ。

まだまだ。

だつて…。

始まつたばかりじやないですか。

『一呼吸おいて』

ああ…。

素敵。

その顔。

可愛い。

ねえ。

私、あなたに一つ謝らないといけないんです。

ヌードモデルの件。

確かに絵を描きたい気持ちはあるんですけど。

それよりも。

囁き←*****

『耳舐め』

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれ

…。

こういう事をしてみたかったんです。

※S E・手コキ←

あなたを裸にして。

おちんちんをいじめて。

沢山気持ちよくして。

そしたらあなたは、一体どんな顔をするのかなって。

そんなエッチな妄想をずっと…。

それこそあなたが入部した時からしていました。

あなたが私を目で犯していたように。

私もまた、妄想の中であなたをいじめてたんです。

《耳舐め》

ちゅ…あん…む…ちゅ…あむ…んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…あ
ん。

こここの所は特に…あなたの事ばかり考えていました。

身も心もぐちよぐちよにして。

私の物にしたい、って。

《耳舐め》

んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…れろれろれろ…じゅる
る。

ねえ。

私を脱がしたくないですか？

見たいですよね？

私の裸。

ワイシャツのボタン。

外してください。

※ S E → 手コキ

***** 曰き→*****

※S E ..衣擦れ

ふふ。

手、震えてますよ？

もしかして、女性の服を脱がすのは初めて？

『一呼吸おいて』

…まあ、そうなんですか！

じやあ今までエッチな事はした事ないんですね。

ふふ、嬉しい…。

『一呼吸おいて』

え？ 私…ですか？

勿論、私も初めてです。

『笑いながら』

本当ですよ。

『一呼吸おいて』

…なんだつたら。

体の隅々まで調べてもらつていいんですよ？

あなたのその…大きなおちんちんを。

私の中に…おまんこに入れてみたら、何か分かるんじやないですか？

…なんて。

ふふふふ。

さ、ボタンは外れましたし。
そのまま、脱がしてください。

※S E .. 衣擦れ

《一呼吸おいて》

ん…。

そんなじつと見られと、その…。
いえ、あまり可愛い下着ではないので。
お見苦しいかと…。

そんな事ない？

似合ってる？

ふふ、ありがとうございます。

あ、下着はあれですが…。
おっぱいの大きさにはそれなりに自信があるんです。
ほら、寄せてあげると…。

※S E .. 衣擦れ

ね？

カツプ数だけなら、アイドルにも負けないくらいです。

いえそんな…アイドル並みだなんて。
そう言って下さるのは嬉しいですが、照れちゃいます。
でも…ありがとうございます。

…顔？

《囁き←》

あなた好みのお顔、ですか？
犯したい、エッチしたい、って思える顔？
《→》

ふふふ♪

さ。

まだスカートが残っていますよ。
そう、そここのチャックを下ろして…。

※S E .. 衣擦れ

※S E .. チヤックを下ろす

靴下は…そのまま？

そつちの方が良いんですか？

ん、もう。

えつち。

あの…見てるだけ、ですか？
触つたり…しません？

※S E .. 衣擦れ

ん…。

優しい…。

あなたらしい、ですね。
こんな時も、紳士的で。

そのまま。

撫でてください…んつ。

はう…んう。

あ、うう…。

おっぱい、どうです？

…柔らかい？

あ、んつ…はう…あ…ん。

そう…下から包み込むように。

上手…。

気持ちいいです…。

《一呼吸おいて》

ねえ。

今私は…魅力的、ですか？

犯したいって。

思ってくれてます？

《3秒沈黙》

本当？

じゃあ。

おっぱいは？

好きですか？

《微笑みながら》
こーら。

ちやんと言つてください。

おっぱい、好き？

《一呼吸おいて》

轟き←*****

んー？

どれくらい？

大好き？

だーい、ちゅき？

ふふふふ。

大きい方が好き？

それとも小さい方？

そう、おつきい方が好きなんですか。

変態さんですね。

ふふ。

『一呼吸おいて』

ねえ。

一個、言つていいです？

いえ…その。

ちよつと言いにくい事ですが。
実は私、前、見ちやつたです。

ほら、プールの授業が始まつたばかりの時。

私が委員会で抜けた時があつたじやないですか。
美術室に、荷物、置いたまま。

あの日、あなた、私の水着を嗅ぎながら。
おちんちん。

しごいてましたよね？

ええ。しつかり見てました。

不用心ですよ？

あんな外から見える所で。

私じやなかつたら、大事になつちやいます。

ねえ…。

そんなに我慢できなかつたんですか？

誰もいない美術室で、私の水着が目の前にあつて。

良心と戦つて…。

それで…負けちゃつた？

《笑いながら》

あら…あらあら。

うん？ なんですか？

急に声小さくなつたみたいですが。

ほら、ちゃんとごめんなさいした方が良いんじやないですか？

ね？

へ、ん、た、い、さ、ん。

《一呼吸おいて》

ふ、ふふふふふふ。

良く言えました。

ねえ。

教えてもらえませんか？

※S E .. 手コキ ←

あの時、どういう妄想をしていたのか。

私の濡れたスク水を嗅いで。

こうやつておちんちんしごきながら。

私は、どんな風に犯されていたんですか？

《一呼吸おいて》

ふうん…。

ああ…。

へえ…。

耳舐め、ですか。

《耳舐め》

あん…れろ…んつ…ちゅ…くちゅ…れろれろ…んは…ちゅう…れろ…ん…あむ…あん。

どうしたんですか？

続けてください。

私を押し倒して。

服を脱がして…。

それで？

《耳舐め》

ん…はあ…んつんつ…れろれろれろ…ちゅぱ…ああむ…はあ…ん…ちゅ…れろ…んつ。

キス？

無理やり舌をねじ込んで…。

そう…。

《キス 無理やり舌をねじ込むように》

ん…ちゅ…れろ…んちゅ…ちゅ…ん…あ…ん…。

こんな感じですか？

その後は？

《耳舐め》

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれろ…。

両手を押さえつけて…。

脚を広げて…。

下着をはぎ取つて、おちんちんを無理やりねじ込んで…。

ふふつ。

かわいい顔して、そんなひどい妄想してたんですね。

それで、続きは？

《耳舐め》

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれ
ろ…。

へえ…。

一杯突いてるうちに私も感じて。
あなたも我慢できなくなつて。

射精、したんですか。

ゴムもつけずに。
中に精子を。

私のお口で掃除させる？

そして…：

また腰を振つて。

《一呼吸おいて》

二回も犯してたんですね。

こんな立派なおちんちんで。
欲望のままに突いて…。

ふふふ。

ダメですよ？

そんな事されたら。

私、あなた専用の性処理係に落とされちゃいます。

女性は：強い男性の、セックスしたい、孕ませたいっていう欲望には：勝てないようで
きてるんです。

私は、まだまだあなたをいじめたいんです。
こんな風に…。

《耳舐め》

あん…れろ…ん…ちゅ…くちゅ…れろれろ…んは…ちゅう…れろ…ん…あむ…あん。

ねえ。

私は、あなたの妄想で、どれだけ犯されました？
おちんちんで何度も何度もおまんこを回されて。

何回、精子をぴゅつぴゅしたんですか？

《一呼吸おいて》

数えきれないほど？

そうなんですか。

ねえ。
します？

《笑いながら》

何がって。

今まで妄想の中でしてきた事。

私を押し倒して。
脚をこじ開けて。

あなたの大きなおちんちん。

入れちゃいます？

そしてそのまま。

腰をパンパンして。

中出し。

※ S E : 手コキ →

※S E .. 衣擦れ

もう、がっつりますぎですよ。

《一呼吸おいて》

《笑いながら》

そこで謝つてしまふのがあなたらしいですね。

いえ…素敵だと思います。

※S E .. 衣擦れ

あ、ちよ・・。

ぐりぐり、おまんこに。

おちんちん、押し付けて…。

ダメ、ですって。

ほら、慌てない慌てない。

※ S E .. 衣擦れ

ん…パンツの、上から、ひや、あう…あ、ん…あう、ひや、あんつ…や、あ、あ…。

『笑いながら』

それじゃ私の体でオナニーしてると変わりないですよ。

お互いに初めてなんですから、
ゆっくり、しましょう。

もし暴発しちゃつたら
大変じゃないですか。

どうか、私に任せてください。

うん、いい子。

それじゃ、おちんちん、触りますね。

※ S E .. 水音

熱い。 ふふ。

それにギンギン…。

※S E : 手口キ↑

ねえ。

精子、おまんこにぴゅつぴゅしてもいいんですよ。

だから、生でしゃいましょうか。

まあ元々ゴムなんてないんですけど。

『笑いながら』

あ、またビクビクつでした。

ねえ。

私の事、好き？

いえ、さつき聞いたのはおっぱいが好きかどうかですかから。
今度は、私自身を好きかどうか。
ねえ、どうです？

『一呼吸おいて』

本当に？

大好き？

『一呼吸おいて』

ふふふ。

愛してるつて。

：いえ、そんな。
とても…すごく。
嬉しいです♡

ねえ。

そんなあなたに。
お願いがあるんです。

『一呼吸おいて』

えつとですね。

それは…。

※SE..手ヨキ→

※ S E .. 金属音

お、あ、
ず、
げ。
です
。

କାଳିକାଳିକାଳିକାଳିକାଳିକାଳି

ああ：そうですね。

貞操帯つていうんですけど。

「まことに、おせんせんを閉し送めて、
おつづくの出来ませぬ。」

あ、生活する上では困らないので安心してください。
トイレ用の穴も空いてますし。

卷之三

それはですね…。

《一呼吸おいて》

私、あなたを管理したいんです。

いつも、妄想してたんです。

あなたを自分のものにしたい。

もつともつと、可愛い顔を見てみたいつて。

一呼吸引て

卷之三

卷之二

そういう可愛い顔、私、大好きなんです。

お辛いですか？

今すぐ夕して浴してやが。

ねえ。

もし本当に嫌だつたら今すぐにも外します。
けど、ですね。

少しても
私は管理されてもいいので言ふんだから

一
力
月。

そしたら。

卷之三

いえ。

あなこの望みの極め

処女を、捧げたいんです。

《一呼吸おいて》

ええ、分かっています。私が異常な事言つてるつて。でもあなたを愛おしいと思つてゐる、この気持ちは純粋なんです。

どうか、私の愛情を受け取つてもらえませんか？

『3秒沈黙』

ああ…ありがとうございます。

きっとあなたならそう言つてくれると思いました。

あ。

言うまでもないんですけど。

このことは、皆には内緒、ですよ？
ええ、私たち二人だけの秘密です。

あ、ちなみに。

貞操帯の鍵はここに。

※SE..衣擦れ

いつもネックレスとしてぶら下げておくので、ご安心を。
決してなくしたりしませんから。

ふふふ。

長いひと月になりそうですね。

《冒頭 3 秒沈黙》

*****体を触られて感じている風に←*****

※S E・衣擦れ

あ、ん…あうう、ひや、あんつ…や、あ、あ…。

《笑いながら》

ちよつともう、鼻息荒すぎです。

誰かにばれちゃいますよ？

こんな所でエッチな触りっこしてるって。

まあ、昼休みの美術室なんて、先生も来ないですから…ひやつ、あう…。
大丈夫、だと、思いますけど…

全く…さつきまであんなに恥ずかしがっていたのに。

おっぱい、触り始めたら。

すぐ夢中になつちやつたつて。

ええ、いくらでも触つてください。

私も、申し訳ないと、んつ…思つてたんです。

一ヶ月もオナニー禁止なのに、なにもご褒美が無いだなんて。

だから、こうやつて、触るだけだったら、いくらでも、させてあげたいなつて。
私も、あなたに触られるの好きですし…♡

まあ、お射精は一ヶ月後なので。
ムラムラはたまる一方なんでしょうけど。

ふふふ。

どうですか？

やつぱり、お辛いですか？

貞操帯つけて、もう、一週間経ちましたけど。

ん…。あ、ひやう…。
なる、ほど…。

辛さより、私と…いう関係になれた嬉しさの方が大きい、ですか…。

ふうん…。

あなた、結構、マゾさん、ですね。

だつて…射精する権利を、取り上げられたのに…ひやつ…んう。

怒るどころか、喜ぶなんて…。

でも…んつ、私も、そつちの方が嬉しいです。

それは…だつて。

私もあなたが嫌がる事をしたいわけでは、ないですから…はう…んつ。

…ええ、そうですよ。

これは、命令じやなくて、お互いの約束、ですから。

どつちかが、やーめた、って言つたら。

それまで、ですよ？

貞操帯外して…。

あなたはきっと、すぐに、おちんちんしきしきしちやつて…。

それでおしまい。

あ、その時はもちろん、生エッチも無しですけど。

ふふふ。

あつ、んう…ひや、あう…んつ。

ええ、そんな感じで、触つてください。

おっぱいの外側から…全体を…んう…包み込むように、ゆっくり、攻めていって。乳首は、すぐに触らず…ひや、あつ…指先で、周りをくるくる撫でて…。

あつ、んう…やつ、あ…。

最後に、乳首を、焦らした分…少しだけ強めに…！

ひやつ、あ、んう…あ、あ、あ…んつ…！

そう、です…とても、気持ちいい、です…。

ふふ…。制服の上から、なのに。

私の乳首の場所、分かるんですか？

絵だけじゃなくて。

エッチな事も、呑み込みが早いんですね。

『一呼吸おいて』

ねえ、下も、触つていただけませんか？
もう、おまんこぐちよぐちよなんです。

※ S E .. 衣擦れ
※ S E .. 水音 ←

はう…。

ふふふ、そう…おっぱいを触る時と、同じ、です。

最初は…足の付け根辺りから、ゆっくり触つていって…。
徐々に徐々に、割れ目の所に…。

ん…あうう…ひや、あんつ、あ、んう…ひやう…。

ええ、パンツの隙間から、指、入れちゃつてください。
それで割れ目の上を…ひやう…！

んつ…あつ…そう、ゆっくり、指の真ん中で撫でて…。

何度も何度も…。

丁寧に、丁寧に…んつ…。

クリトリス、分かりますか…?

割れ目の上あたり…あ、んう…そ…!…!

まだ、皮に包まれてるので…、剥いて…。

あ、あ、んう…! そこ…そう…!

ぐりぐりって、指の、柔らかい所で。

揉むように、押してください…!

んあ…はつ…はあ…はううつ…んつ…んふつ…ふつ…ふう…うう…

本当に、初めて、ですか?

んう…はう…。

だつて、指、えっちです…。

ふふつ、勿論。

すうつつばく…。

気持ちいいです♡

ねえ…。

そろそろ、指…。

入れて?

※S E ..水音

ひやつ…あつ…んう…あ、ん…!

※S E ..手マン ←

あんつ…あ…!

いえ、そのまま…。

ゆっくり…ひやう…あつ、んう…入れて…!

んああつ…ひや、ああ、ああああつ、くふつ…はあつ…はあ…。

あ、そこ…！

入口当たりの、ざらざらした所。

そこを、ゆつくり、なでなでしてください…。

うあ…はつ…ん、うううう…あつ…んんつ…くふつ。

そう、です…そう…。

強くしないで、いいので。

優しく、撫でて…！

はつ…あ、あつ…んつ…く、ふつ…やあつ…あ…。

気持ちいい…！

んあ…はつ…はあ…はううつ…んつ…んふつ…ふつ…ううつ…

そのまま…！ ひやう…いい、そ……！

ねえ、キス…キス、して、ください…！

《キス》

んー…ちゅううう…あん…くちゅ…ちゅ…はあ…ん…ちゅううう…んう…くちゅ…んつ。

ふふふ。

睡、垂れ、ちやつた。

ひやつ…あんつ、あう…あ、あ、んうう…あんつ、あ。

ああ、すゞ…！

いく、いきます…！

そのまま、そのまま、苛めて…。

もつと、もつと激しく…！

ひやつ……あ、んう……あ、あ、んうう……や、あう……。

いつちやう、いく…！

あつあつ、だめ、あ、や…ひや…！ あんつ、あ、あ、あ、あ…！

いくううう…！

※SE：手マン→

⋮
⋮
⋮
⋮

ん、あう……んうう……。

す、す
ごい…。

ప్రా.

脚、
ガクガクになつちやつた…♪

※ S E .. チヤイム

あ
・
・
。

昼休み、終わつてしまひました…。

お弁当食へ損ねちゃいましたね

エツチな事してると、あつとい

あ、お先に教室出ちやつてください。

詰かに見られぢやうかもですし
縒だと

…すみません。

私だけ気持ちよくなつちやつて。

ねえ。

あなたさえ良ければ。
放課後、またします？

ふふふふ。

ええ、勿論。

私も、楽しみにしてます。

さ、早く行かないと授業遅れちゃいますよ。

*****真美←*****

※SE：教室の引き戸

…あれ？

あ、ここにいたんだ。

いや、ほら、君、昼休み始まつたらすぐどつか行つちやつたじやん？
一緒にご飯食べたかったのに一つて、横山君、言つてたよ。

あ、じやなくて…。

ハルちゃん…いる？

誰つて…君の先輩だよ。

如月春奈。

…いない？

本当ー？ なんか目、泳いでるけど…。

《一呼吸おいて》

え？ 用事？

ああ…教科書を…。

いや、私、ハルちゃんとお隣さんでさ。

お母さん同士が仲良くて、私達も昔から遊んでて。

で、まあ。

たまに忘れものとか頼まれて。

今日はなんか物理の課題？

昼休みに渡せばいいやーって思つたんだけど教室居ないし。メソセも既読つかないしさ。

五限目はじまっちゃう。

※S E :: チャイム

あ、やっぱ。

だから、ほら。

一緒教室帰ろ！

《ぼそっと呟くように←》

えへへ。

ラッキー

《→》

*****真美→*****

あらあら。
ふふふふふ。

《冒頭3秒沈黙》

※S E ..扉を開く音

お待たせしました。

すみません、うちジュースとかなくて普通の麦茶なんですけど。

《一呼吸おいて》

あら、どうしました?

そんなにそわそわされて。

あ、もしかして、女の子の部屋は初めてですか?

ふふ、そう..。

いえ、いいんですよ、好きに見てもらって。

でも…なんだかすみません。

いえだつて。

もっと…こう、色んなものがあると思ってたんじゃないですか?

例えば…ほら。

《囁き》

拘束したり、苛めたりする道具とか。

ふふふ。

でも、案外普通でしよう?

あ、本とか読れます? 小説でも漫画でも、流行ったのは結構持ってるんですよ?

それにゲームも。こう見て色々やつたりするんです。

ええ、育成シミュレーションが特に好きで。

あ、ちなみに…。

そのカーテンの向こう側は真美ちゃんのお部屋です。

ええ、お隣さんですから。

ホントすぐ向かい側。

手を伸ばしたら届いちやうくらいに近くで。

小さい頃は窓越しに行き来もしてたくらいなんです。

…ってすみません、関係ない話を。

それで…。

今日来てもらつたのは、ちょっとどう相談したい事がありまして。

※SE・足音

もう二週間になりますよね。

貞操帶。

毎日毎日お辛いでしょに。

頑張つてくれていて…私、本当に嬉しいんです。

それで…まだ気が早いかもしないですが。

初めての時の下着を…一緒に決めてもらいたくて。

ほら、最初はあまり可愛い下着をつけてなかつたので。

せめて、初エッチの時はあなたの好みに合わせたいと思って。

でも…下着つて色だけじゃなくて形も色々ありますし。

色々悩んだんですけど、持っている中から選んでもらうのが一番かと。

《笑いながら》

すみません優柔不斷で。

※SE・タンスを開ける音

これとかは部屋着用の、ワイヤーが無いタイプで。

こっちが刺繡とかもある割とおしゃれな奴ですね。

あ、これはスリップと言つて、暑い日はこれだけで寝たりするんです。

私としては…やつぱり…こういうレースが入つているものが良いかなと思うんです。
可愛くて…それにえっちで、ほら、胸も寄せれるんでそういう意味でも。

どれか気になつたの、あります？

『一呼吸おいて』

あら…あらあら。

固まつちやつて、どうしたんです？

もしかして…。

照れてます？

可笑しな方ですね。

毎日あれだけ私の体を触つて…いるというのに。
下着で、そんなに顔赤くしちゃうんですか？

お恥ずかしい所申し訳ないですが。
この中から選んでほしいんです。

『囁き』

あなたの中出し童貞卒業に相応しい衣装を。

ふふふ。

『一呼吸おいて』

あら…あらあらあら…まあ。

それは…。

ふふ、いえ。

是非手に取つて広げてみてください。

※S E .. 衣擦れ

分かります…よね。

それ、スク水です。

ええ、一緒にいれていたんですが…。

ふふふ。

ホント…あなたは変態さんですね。

そんなに、スク水を着た私を犯したいんですか？

『一呼吸おいて』

いえ、そんな。

あなたがお望みでしたら。

喜んで着させてもらいます♡

『一呼吸おいて』

でも…残念ですね。

いえ、折角なら下着姿も見て欲しかったので。

こういう時じやないと、誰かに見せる事なんてないじやないですか。

あ…そうだ。

ちなみに…なんですがど。

※S E .. 衣擦れ

今着てるのは…こんな感じなんです。

これ高いんですよ？ ショーツにもブラにも花の刺繡があつて。
肌触りもすごく良いんです。

ほら。

お手を…。

※ S E .. 衣擦れ

ね？

さらさらしてて、触っていて気持ちいいでしょう？
形も綺麗に見えるんで…、こうやって前かがみになると。

《一呼吸おいて》

おっぱい、大きく見えるでしょ。

《一呼吸おいて》

あ、そうだ…♪

今日は、これで触りっこしません？

ええ、あなたさえ良ければ。

いつもみたいに、触ってください。
態々お越しいたいで、ふふふ…♪

おちんちん。そんなに大きくさせるほど期待して。
このまま何も無しなんて、失礼ですから。

あなたもそれを期待しているんでしょ？

ここだと邪魔者も入りませんから。

沢山、好きにできちゃいますよ。

…それじゃ、脱ぎますね。

※ S E .. 衣擦れ

ん…。

どう、でしようか？

可愛い？

ふふふ、ありがとうございます。

でも…あなたも可愛いですよ？

緊張でカチカチになっちゃって。

だけどそんなんじゃ、本番の時ちょっと不安ですね。
緊張しそぎると立ちが悪くなると聞きますし…。

…あ、そうだ。

ついでですし、そっちの練習しどきましょうか。

何つて…えっちの練習？

ふふ。

さ、ベッドへ。

※SE：足音

ん…。

えいっ…！

※SE：ベッドのスプリング

押し倒しちゃいました…。

いや、引きずり込んだ、が正しいですね。

私が下で、あなたが上ですから。

ん…ぎゅー。

※SE：肌がこする音

《キス》

ちゅ…ん…くちゅ…ちゅ…あ…ちゅ…ちゅう。

囁き←*****

心臓、バクバクですね。
ええ、分かりますよ。

《笑いながら》

どうして謝るんです？

私の体に興奮してるから、そんなにドキドキしてるんですよ。
なら…むしろ私が謝らなくちゃ。

申し訳ありません。
お射精できないのに。

こんなエッチな下着で誘惑してしまって。
さ。

練習、しましよう。

※SE..肌がこする音

ん…」のまま腰を振つてください。
ぱん、ぱんって。
ふとももに腰を打ち付ける感じで。

※SE..セックス←

ん…。

お上手。

ちゃんとパンパン、出来てますね。

あむ…。

《キス》

んっ…ちゅ…ん…ちゅ…くちゅ…んっ…ちゅうう…あう…ちゅう…はう…んっ…ちゅう。

ん…あ。

《からかうように》

舌、入れてきましたね？

えつち。

《キス》

はむ…ん、 んむ…ちゅ…んむつ…。

そうそう、 その調子です。

ぱんぱん。 ぱんぱん、 つて。

腰振り上手ですよ。

本当に童貞さんですか？

実は色んな女性とエッチしまくりだつたり。

ふふつ…分かってます。

あなたは嘘つけない人ですから…。

ちゃんとイメージしてくださいね。

あなたのおちんちんを、私のおまんこに入れるとこ。

愛液でぬるぬるしてるエッチな穴に。

ずっとお預けされた限界おちんちん、押し付けて。

私がやめて、 って言つても、 止めちやダメですよ？

パンパンして、 射精して、 それでも足りなかつたらすぐに二回目をして。

終わるところには、 私はおまんこも体も、 あなたの精子でべたべたになつちやうんでしょう
ね。

ああ…想像するだけで濡れてしまします。

ねえ。

おまんこ、 いじめて？

この間教えたみたいに…女性の上手ないかせ方。

…練習、 しましよう？

※S E .. 手マン ←

あ、ん：あうう、ひや、あんつ……や、あ、あ……。

がつついてる：可愛い

貴府に魚河の力

脚を広げて…

ふふ…エツチな所、丸見えなつちやいました。

※SE：手マン→

もう、手、止まつてますよ？

「これでも一応、秘書かしらのですかう…。」

八九

はう…んつ。

三十
三十
三十

ええ、そのまま、パンツも、撫でて…。

んつ、あ…んや、あう…。

卷之三

指先でぐりぐりよりかは。
手のひら全体で、撫でるように…。

そう…そんな感じ、です。

ん…あうう…ひや、あんつ、あ、んう…ひやう…。

そのまま、指を入れて、欲しい…。

※SE..水音

はう…！

あ、んつ…ひやつ…あ、んう…はう…ひやつ…あ、んう…あ、あ、んうう…や、あう…。

もつと、奥…。

※SE..挿入

あうううう…！
んつ…あ…。

そのまま。

奥、ぐちゅぐちゅつて。

※SE..水音

あ、ん…あうう、ひや、あんつ…や、あ、あ…。
んつ…はつ…はあ…く、ふ…はあ…んうう…。

ふふつ、上手、上手、です。

うん？ おっぱい？

勿論、いっぱい…なめて…。

んあつ…はつ…ひあ、ああつ…う、んんつ…。

そんな、吸われたら…！

あう…ひやつ…くふつ…う、んんんつ…ふはつ…あ、あ、あああ…。
んつ…はつ…はあ…く、ふ…はあ…んうう…。

あ、だめ…！
腰、うごいちやう。

ひやう…んつ、あ、や、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ。

だめだめ。

いつちやう、いつちやう…。

はつ…あ、あつ…んつ…ぐ、ふつ…やあつ…あ…。

いく、いく、いく、いく。
いつちやう…！

『一瞬息を止めて』

…。

つ…あ、ん…あ…。
はあ、はあ。

すう、はあ。

すごい…。

あつさり…。

いかされちゃいましたね…。ふふ♪

ええ…おまんこ、負けちゃいました。

← 騒ぎ | *****

…ねえ。

このまま、またしてくれません？

今度はもっと激しく。

おまんこ、搔きまわして欲しいです。

※S E ..挿入

ひやう…。

※S E ..手マン

んあつ…はつ…ひあ、ああつ…う、んんつ…。
ひつ、あ、んう…あ、う…ひやう。

※S E ..衣擦れ

はむ…。

《キス》

ちゅうう…んつ…ちゅ…うう…ちゅ…あうう、ちゅ…んつ…くちゅ…ちゅ…んつ…くちゅ
…。

すっかり、上手に、なつちやいましたね。

本当…上達が早いですね。

教えてたら…んつ、教えた分だけ、ひやう…吸收してくれて。

私も、嬉しいです…。

ん…あ、んうう…。

ふふふ。

きっと、あなたとエッチする女性は皆、夢中になつちやいます。

え?

好きなのは私、だけ?

他の人の所には…んつ、あ…行つたり、しない?

そう、ですか…。

《キス》

んふ…れる…ちゅ、んむ…んんつ…れる…んんんつ…。

ねえ。

一つ、聞きたい事があるんですが…。

真美ちゃん、どう思います？

《一呼吸おいて》

ええ、今、です。

ん…今、聞きたいん、です。

どういう意味って…。

あう…んつ、女性と、して…んつ、魅力的かどうか。

つまり…。

セックス。

してみたいかどうか、って事です。

真美ちゃん、可愛いですよね？

…んつ、明るく、て、ひやう…優しくて。

私よりも、おっぱい…んつ…大きいん、ですよ？

ウエストもほつそりしていく。

足も長くて。

それに…。

んう…はう…。

知つて、ました？

真美ちゃん、あなたの事が好きなんです。

《一呼吸おいて》

《笑いながら》

嘘じやないですよ。

あなたが、美術部に入つてから、んつ…あ、はう…あなたの話、よくするように、なりました。

それに…あなたといるときの、真美ちゃんの顔…あんつ…あ…ん…見て、れば。
誰だつて、わかり、ます。

《キス》

はむ…れろ…ちゅ、じゅる…つ…ふはあ。

ねえ…真美ちゃんとデート、してみませんか？

今度の日曜日、お買い物、行く約束をしているんですけど。
ひやう…あ…。

それを…あなたに…ん…代わつて、ほしいんです。

ふふ。

難しい、お顔、してますね。

そんな…複雑に、考えなくて、んつ、あ…いいん、ですよ？
私はただ、好きな人、同士が…あんつ…仲良く、なつたら。
嬉しいなつて、そう思つてるだけ、なん、です。

あ、勿論。

真美ちゃんには…ひやう…私とあなたが、こういう事を、しているのは、内緒で。

ね？ 悪い話じや、ない、でしょ？ …ん。

あなたから、すれば…ふふふ、可愛いお友達が一人、増えるつて事…ですし。

それに。

とつても仲良くなつたら…。

三人で、エツチな事、しちやつたり。
なんて。

あ…ちょ…そ…激しつ…！

あ、んつ、や…ひやう…あ、あ。
だめ、いく…。

そこ、ああ…ダメ、ダメダメダメダメ。

あ、あ、あ、あ…！

※S E .. 手マン →

……………、あ…。

あ…ふふ…。

また、いっちやいました…。

すごいですね、連続で二回も。

もう、女性の扱いは、問題なさそうですね。

『キス』

ちゅ…んっ…くちゅ…ちゅ…んっ…くちゅ…。

ありがとうございます。

とっても、気持ち良かつたですよ。

あ…。よければこれ。

んしょ、と。

※S E .. 衣擦れ

ふふふ。

パンツです。

差し上げます。

まだオナニーは許可できませんが。

これを嗅ぎながら、ぜひ今日の事を思い出してください。

そ、し、て。

日曜日、真美ちゃんとのデート。

よろしくお願ひします、ね？

《冒頭 3秒沈黙》

《以下、指示部以外は真美》

※S E .. 街中 ←

あ…。

《焦つたように》

ご、ごめん、待った？

てか…早いね。

30分前だよ？

いや、まあ、私もそうだけどさ。
何か、寝れなかつたというか…。

あ！ いや、ちがくて！

なんか、目が覚めちゃつて、休みの日はいつもそんなんだから！

早く起きちゃう、というか、ホント、別、緊張してたとかじやなくて。

それで。

《気まずい沈黙 3秒》

あはは…。

なんか変な感じだね。

いつも学校でしか会わないから。

《一呼吸おいて》

まつたく、ハルちゃんも勝手だよね！

用事が出来たから代わりに君と行ってくれ、なんて。

その…迷惑じや、なかつた？

『一呼吸おいて』

あ…へえ…そう。

楽しみ、だつたんだ…。

じや、じやあ仕方ないなあ！

今日は付き合つてあげましょうか！

…とか言つてみたり。

えへへ。

『一呼吸おいて』

『軽い咳払い』

んつ。

それじや…行こつか？

※S E..街中→

『5秒沈黙』

※S E..ショッピングモール←

クレープ屋「お待たせしましたー！ 抹茶クレープ一個でお待ちのお客様！」

あ、はーい。

ありがとうございます。

え？ いいよいいよそんな。

これくらい奢らせて。

君のおかげで可愛い服も見つかったし。

はいどうぞ♪

《クレープを頬張る》

あむ、ん、はむ…。

んーめっちゃおいしい。

ちよつと一口食べてみて…って同じ味だった。

：残念。

え？ ううん、別に。
えへへ。

《クレープを頬張る》

あむ…ん、はむ、はむ…。

あ、そういえば…。

ちよーっと聞きたいなあって思つてたことがあつて。

ん？ んー…。

ハルちゃんと君つて、どんな関係かなつて？

《一呼吸おいて》

あ…！ ちょ、大丈夫？ 気管入つた？
ちょ、水、水…。

※S E .. バッグを探る音。

はい、どうぞ。

※S E .. ペットボトルの蓋を開ける。

：落ち着いた？

《笑いながら←》

てか…焦りすぎ。

何かやましい事があつたり…。

《→》

嘘嘘、じょーだん。

《軽い感じで》

いやでもさ。

実際：ハルちゃんってめっちゃ美人じやん？

スタイルもいいし、頭いいし。

優しいしさ、いつも余裕あつて、大人の女性、

つて感じだし…。

そんな人と、部活中ずっと二人だつたら。

私なら、きっと好きになるんだろーなーって。

思つたから。

《→》

《ちょっと真剣な感じで》

それで…。

実際、どう？

《→》

《一呼吸おいて》

…ホント？

ただの先輩と後輩？

ふうん…。

※ S E .. 電話

あ、電話？

うん、どうぞどうぞ。

《独り言 ぼそぼそ呟くように》

ただの先輩と後輩…ただの先輩と後輩…。

《春菜 電話 ⇐⇒》

もしもし？

デート、楽しんでますか？

ふふふ、随分驚いてますね。

あ、真美ちゃんにばれないようお願いしますね？

男友達から、つて事にしといてください。

あ、で。

お電話したのは、ちょっと、お渡ししたいものがあつて。

今、ショッピングモールですよね？

フードコートに座つて、一緒に抹茶のクレープを食べてる…。

でしょ？

そのすぐ隣に、車いす用のトイレがあるの、分かります？
そこで待つてますから。

ノックを二回、続けてまた二回鳴らしてください。

あ、もし。

…あなたに限つてそんな事はないと思ひますけど、もし来てくれなかつたら。
真美ちゃんに色々な事お話ししますから♪

例えば…あなたが、今おちんちんに着けてる物の事、とか？

ふふふふ。

それじや。

お待ちしております。

《春菜　電話　→》

あ、電話終わつた?
誰から?

《一呼吸おいて》

友達?
…ああ、遊ぼうつて?
あ、それは申し訳ない…。
お友達に謝つといて?
今日は私が予約してましたーつて。

あ…ちょ、どうしたの一気にクレープ食べて。
またむせるよ?

トイレ?

あ、そういう事…。

うん、私ここで待つてるね。
行つてらっしやい。

《春菜 ←》

※SE：ノック2回+2回

※SE：鍵を開ける
※SE：ドアを開ける

こんにちはく。

さ、早く中へ。

※ S E .. ドアを閉める

※ S E .. 鍵を閉める

デート、楽しんでるみたいですね。
ええ、待ち合わせからずっと拝見しておりました。

あんなに楽しそうな真美ちゃん、久しぶりに見ました。
私も楽しくなっちゃうくらい♪

そ、れ、で。

あなたに渡したいものなんですが…。

※ S E .. バッグを探る音

これ。

何かわかります？

男性用のバイブ、なんです。

おちんちんに着けるものですよ。

※ S E .. バイブ

意外と静かですよね。

それが売りのバイブなんですよ。
なんでも、図書館で使ってもばれない静音性…とか。

え？

これをどうするか、ですか？

もう、そんな惚けちゃって。
こうするんですよ。

※ S E .. 衣擦れ

ズボン、おろしちゃいますね。

そして…ふふふ。

貞操帯も、外します

※S E .. 鍵を外す音

どうです？ おちんちん自由になつた感想は…つて。

あら…あらあら。

ちよつと触つただけなのに、もう大きくなつちやつて。
ふふふ、我慢汁もだらだらじやないですか。

『嗅ぐ』

すんすん。

匂いも…とつても濃いです。

これ、今溢れた、つて訳じやないですよね？

真美ちゃんとデートしている間、ずっと垂れ流していた…。
そうじやないですか？

『一呼吸おいて』

あら、悪い子ですね♡

そんな子はお仕置きです。

※S E .. 手コキ ←

ふふ、体ビクンつてさせちやつて。

ゆつくり動かしてるだけなのに。

刺激、強すぎました？

それとも…射精できるかもつて、期待してます？

ふふふ。

そんな訳ないじやないですか♪

ええ、このバイブ、付けるためには勃起してないといけないので。
あとヌルヌルの方がつけやすいですから…。
もつと我慢汁垂れ流してください。

《一呼吸おいて》

ねえ。

真美ちゃん、どうですか？

今日の真美ちゃんとってもかわいいですよね？
短いスカートで…。

あなたの好きな二一ソックスも履いて。
胸も、大きさがわかつちやうような服で。

あなた好みの女性に仕上がつてますよね？

ずっと思つてたんじゃないですか？
襲いたい、セックスしたいって。

※S E .. 電話

あら…。

ふふふ、噂をすれば…。
真美ちゃんからです。

あ、声を上げちゃダメですよ。
しー、です。

※S E .. 電子音

もしもし？

『あ、もしもし、ハルちゃん?』

『今大丈夫? 何かしてた?』

今ですか?

そうですねえ…。

『一呼吸おいて 主人公をねつとり見つめる感じで』

今、学校なんです。ほら、昨日言った、急に入った委員会の仕事。

『あ、ごめん、邪魔しちやつた?』

いえいえ、ちょうど休憩していたところなので。

それで、どうしました?

今日は気になる彼とお出かけ、ですよね?

『ちょっともう、そんな言い方…!』

『そ、そもそもハルちゃんが押し付けたんだから…』

『笑いながら』

はいはい、そうですね。

彼は…どうしました? 一緒じゃないんですか?

『あ、うん、今トイレ行つてるから』

『ねつとりとした感じで』

ああ…そうなんですか。

『あ、でね…なんか、電話したくなつて…報告? みたいな』

あらあら…どうですか?

楽しんでます?

『うん、その…もつとき、ちないかなあつて思つてたんだけど』

『結構、楽しくて…』

『たぶん、向こうもそれなりに、楽しんでくれてるのかな? つて感じ』

ああ、良かつた…。

上手くいってるみたいですね。

『うん…』

『ハルちゃんが色々アドバイスしてくれたおかげ
『服とかも、普段着ないような奴だし』

いえいえ。

真美ちゃんのスタイルあつての物、ですよ。

『へへへ…まあ、ね。胸は、だいぶ強調されてるよね』

彼の視線も釘付け、ですか？

『うん…めっちゃ見てる、と思う』

あら…あらあら。

いけないですねぇ。

折角の初デートなのに、エッチな目でばかり見てるのは。

『あ、いや、別にそれは良いんだ』

『いいんだっていうか、その…何て言うんだろう』

『その、こんな事言うのはめっちゃ恥ずかしいんだけど』

『結構、私もムラムラしちゃつてると思う』

真美ちゃんが？

『やばいよね。付き合つてもないのに』

『なんか、エッチしたい、みたいな』

あ。

『え?』

※SE..射精音

※SE..手コキ→

ああいえ、すみません。

ちよつと水、こぼしちやつて。

『新約全書』

ええ…ちょっと待つてくださいね。

《嗅ぐ》

射精、ではないみたいですね。

ダメですよ。

また身糞禁止なんですか?

例え真美ちゃんが

20

あ、もしもし。

『そう？ 良かつた良かつた』

それで、話の続きですが…。

やつはり
今田當自するんですか？

〔あ：えーっと〕

『実は、背中押して欲しくて、電話したり』

そうなんですね…！

ええ、とつてもいいと思ひます。お二人はお似合いのカップルになりますよ。それに、彼もきっと真美ちゃんに好意を抱いてます。

『そ、そ、う、か…』

ええ、勿論。

『あはは…なんか、ハルちゃんにそう言つて貰えるとすゞしく勇氣出る』
『それじや、ちょっと頑張つてみようかな』

その意氣ですよ。頑張つてください。

『ちなみに、さ』

『こ…告白つて、どういう所で…どのタイミングで…だいいと思う…』

そうですね…。

やつぱり二人っきりになれる所じやないと。

『そ、そ、う、だ、よ、ね…』

『で、でも、そ、う、い、う、所、つ、て、近、く、あ、る、か、な』

んー…。

映画館、とかはどうでしよう？

『映画館？』

ほら、そこ映画館あるじやないですか。

どれか、人気のない映画に入つて。

隅の方に座つて。

小声で告白する、とか。

『だ、大丈夫かな』

『そ、の…もし断られたら、すゞしく氣まずいような…』

大丈夫ですよ。

絶対。

断られたりなんか…ねえ?
あるわけないじやないですか。

『そ、 そ、 う、 か、 な…?』

はい♪

なので、 どうか頑張つてください。

『わ、 分、 か、 つ、 た、 』

『頑張つてみるね』

はい♡

頑張つてください。

あ、 それじや、 私はそろそろ休憩終わりなので。

『あ、 うん!』

『ありがとう、 私、 なんかできそ、 うな氣がする』

『今、 今、 人生初の彼氏ゲットしてくるから』

ふふふ。

良い報告、 お待ちしてますね。

『うん! ありがとう』

『それじや、 またね』

はいはーい。

それではまた。

※S E .. 電話を切る音

と、 いう事で。

真美ちゃんが告白しますから。

…って、あらら。

おちんちん。

我慢汁で大変なことになつてますね。

力なんて全然入れてなかつたのに…。

やつぱ何週間もオナニー我慢すると、おちんちんもガバガバになつちやうんですね。

さて、と。

そろそろ、これ、付けましょうか。

※S E ..バイブ

それにも…さすがに、これはちょっと濡れすぎですね。

付けてもすぐに外れちゃうかも。

余分な我慢汁は…。

あーん。

『フェラ』

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれろ…。

『口に含んでいる風に』

いいですか？

あなたはこれから、真美ちゃんに誘われて映画を見るんです。

端つこの席に座つて。

真美ちゃんはきっとそわそわしちやつて。

『→』

『フェラ』

んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…れろれろれろ…じゅるる。

ん…おちんちん、良い感じになりましたね。
それじゃあ、つと…。

※ S E .. 衣擦れ

ふふふ♡

随分可愛らしいですね。

おちんちんバイブ。

あ…分かっていると思いませんが…。

※ S E .. バイブ

スイッチは、私が持っていますので。

あ…あとこの眼鏡もかけてください。

ええ…映画見るつていうタイミングで。

これ、マイクなんです。

あなたと真美ちゃんの会話が聞けますし。
私の声があなたに届くようになります。

必ず、かけてください。

さて。

準備OKです。

《一呼吸おいて》

え?

どうしてこんなことするか…ですか?

ふつ…ふふふふふふ。

良いじやないですかそんなの。
みんなが幸せになれるんですよ?

ほら。

真美ちゃんは、あなたと恋人になれる。
あなたは、真美ちゃんと私、どちらともエッチな事が出来る。
私は…。

《闇のある感じに微笑む》
ふふつ。

私は、私の好きな人が幸せになる。

ただそれだけです。

《冒頭3秒沈默》

あの
：

映画見てるのに。
ご、ごめん。

その…面白い、かな、って。

《一呼吸おいて》

たたよね。お客さんも全然いないし。

《一呼吸おいて》

えつと…。

こ、こんな時、だけど…。
ちょっと、いいかな？

うん……あの、ね？

えと…。

《一呼吸おいて》

じ、
実は。

《咳払い》

んつ。

今日、どうしても君に言いたい事があつて。

その。
ん…。
あの。

入学…した、時から…。
というか…。

同じクラスになつた時、から?

気になつてた、みたいな…。

き、君の事…。

『一呼吸おいて』

『言い訳するように←』

いや、その、ね。

クラスで最初見た時から、な、なんか、いいなあつて。

なんか…うん。

そう思つて、て…。

あ、でも、その時はそんな深く考えてなかつたつていうか。
普通に、あの人いいなつて感じで。

ただ、それだけで。

『→』

そ、それでね?

ほら。

私、ハルちゃんと仲良いじやん?
だから、一緒に帰ろうとか思つて、美術部、覗いた時あつて。

それで。

君がさ、絵描いている所見て。
なんか、すつごい真剣、で。

私、絵とか全然分かんないけどさ。
デツサン？ なんか、上手だなって思うし。

それに…。

真剣な君を見た時に、さ。
いいなあ、じやなくて。

すごい…かつこいいって。

そう思つて。

《一呼吸置いて》

それでさ。

《一呼吸置いて》

気づいたら目で追いかけて。
どんな人かなつて気になつて。

私、これでも結構人見知りだから。
自分から話しかけるとかあんまりしないんだけど。

君には、頑張つて話しかけて。
それで…。

ちよつとは、お話し、できる間になつて…。

なつた、よね？

《一呼吸置いて》

《軽く笑いながら》

良かった。

それで…。

その…だから、ね?

《小さく咳払い》

んっ。

つまり。

き、君の事が…。

《3秒沈黙》

《消え入るように←》

す…好き…。
です。

《→》

君が、好き。

だから、その…。
わ、私と。

付き合つてくれたら。
嬉しい…。

なんて…。

《5秒沈黙》

ほ、ほんと?
ほんとにほんと?

付き合つて…くれるの?

《3秒沈黙》

う、うん！　いや、そんな…。

こ、こちらこそ。

えつと。

私、こんななんだけど。

その。

よろしく…お願い、します。

《3秒沈黙》

えへへへ。

《一呼吸おいて》

いや、なんかやばいね。

うん、やばい。めっちゃやばい。

すごい、なんか、嬉しい。

あーやば。

冗談、とかじやないよね？

やっぱ無し…は、だめだよ？

《幸せそうに》

…うん。

あー…。

ホント幸せ。

《ぽつりと》

ハルちゃんにお礼言わなきや…。

あ、いや、ね。

ハルちゃんに色々相談してて。

今日も…映画館で告白したら？ ってアドバイスしてくれたのもハルちゃんで。

ていうか、正直、君はハルちゃんの事が好きかもって思ってた。
ハルちゃんはさ、そんな事ないって言うけど。

ハルちゃん、美人さんだし。

あんな人が隣にいたら、誰だつて気になっちゃうでしょ。

いやでも…。

あー、マジか…まじかあ…。

ふふふ。

『3秒沈黙』

あ、えっと。

その、もしよかつたら…。
手…とか…。

繫いだりしない？

あ、調子乗りすぎかな？
いや、まあ、恋人だし…。
それくらいは、いいかなって。

『一呼吸おいて』

うん…！

あ、ちょっとまってね。
手汗、やばくて。

『一呼吸おいて』

はい。

じや…。

どうぞ。

《一呼吸おいて》

《笑いながら》

ちょっと、もう。

君の方が手汗やばいじやん。
あつい。

緊張…してたの？

《一呼吸おいて》

《嬉しそうに←》

ふーん。

そっかそっか

《→》

あ、ううん、いいの。

このまま。

むしろもつとぎゅっとしてほしーなーって。

ん…。

なんか、私も、体めっちゃ熱くなってきた。

君の手、結構大きいね。

男の子って感じ。

ふつ…ふふふふふ。

あーやばい。

今、すつごい幸せ。

これから…よろしくね。

彼氏君

♡

《冒頭 3秒沈黙》

《耳舐め》

あ…ん…くちゅ…れる…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れる…ちゅ…れる…あん…ん…れるれ
ろ…。
ちゅ…あん…む…ちゅ…あむ…んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…あ
ん。

あ、ほら。

始まりましたよ、真美ちゃんの告白。

ちやんと聞いてください。

真美ちゃん、どう伝えたらいいか、ずっと悩んでたんですから。

私相手に告白の練習もしてたんですけどね。

《耳舐め》

んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…あむ…れる…ちゅ…れる…あん…れろれろ…じゅる
る。
あん…れろ…んつ…ちゅ…くちゅ…れろれろ…んはあ…ちゅう…れる…ん…あむ…あん。

※S E : バイブ ←

あ、りひ。
ダメですよ。

おちんちん刺激されても、ちやんと我慢しないと。

声も、射精も。

ふふふふ。

まあ、でも。

真美ちゃんは気づいてないみたいですね。

けど…思いもよらないでしようね。

まさか告白している相手が。
おちんちんにバイブ付けて…。
し、か、も。

マイク越しの耳舐めで、よがってるなんて。

《耳舐め》

はあ…ん…くちゅ…あむ…れろれろ…んう…ん…れろれろれろ…あむ…んはあ…じゅるる。
れろれろれろ…くちゅ…んうう…あむ…はあ、あむ…ちゅ…ん、れろれろ…くちゅ…れろ、
ん、ちゅ…。

ねえ。

真美ちゃんの服、ちゃんと見てあげてください。

ブラウスも、短いスカートも、二一ソックスも。
全部、私がアドバイスしたんです。

あなたは、こういうあざと可愛い服が好きだから、つて。

そうでしよう?

大好きですもんね。

むちむちつてした、女の子。

セックス、したいですよね?

ほら、あのブラウスを盛り上げるおっぱい。
よーく見たら下着が透けてるかもしませんよ?

今日の真美ちゃんの下着はピンクらしいですよ。
勝負下着、ですって。

ふふふふ。

本当に残念ですねえ。

エッチな下着をつけた、可愛くておっぱいが大きい。

あなたの事がだーい好きな女の子と。

セックス。

出来たかもしないのに。

《耳舐め》

れろれろ…あむ…んつ…じゅるる…れろれろれろれ…あん…くちゅ…じゅるる。

ねえ、知つてます？

真美ちゃんって実はとてもエッチな子なんです。

週に何度もオナニーしちゃって、たまに私の部屋まで声が漏れてきちゃって。

好みのタイプは、細身で、優しくて、何かに一生懸命になれる人、って言つてました。
ふふふ…まさにあなたみたいな人ですね。

昨日も声、漏れてたんです。

夜に…あん、あんつ、つて。

きつと、あなたの事想像してオナニーしてたんでしょうね。
もしかしたら、布団にシミが残ってるかも。

行つてみます？

今日。

真美ちゃんの部屋。

いいんですよ？ 行つても。

むしろ、私的にはぜひ行つてみてほしいです。

まあ、でも…。

もしエッチしようと服を脱いだら…。

おちんちんにバイブつけた姿、見られるわけですけど。

ちなみに…もしバイブを外したら。

全部、真美ちゃんにばらしますから。

《耳舐め》

ん…くちゅ…れる…あむ…れる…あ…れる…ん、あむ…れろれろれろ…ん…ちゅ…あ…ん
…れる。

ん…。

真美ちゃん、ちゃんと告白できましたね。

ほら、あなたの番ですよ。

「…ちらこそよろしくおねがいします」
つて。

ほら。

早く、言つてください。

《耳舐め》

あ…ん…くちゅ…れる…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れる…ちゅ…れる…あん…ん…れろれ
ろ…。
ちゅ…あん…む…ちゅ…あむ…んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…あ
ん。

はい♪

大変よくできました。

ご褒美に…。

バイブ、強くしてあげますね。

あ、でもあまり強くしすぎて射精されても困りますし。
入れたり切つたり。

休みながらいきましょうか。

※ S E ..バイブ強←

ふふふ。

気持ちいい？
いきそう？

しげいてないのに。

バイブの刺激だけで。

ああ…私もそこにいたいです。

真美ちゃんの幸せそうな顔と。

あなたの射精を我慢しているすました顔。

とつても見たかった。

今度は観察できるような形にしましようか。

真美ちゃんのお部屋にカメラを仕掛ける、とか。

そしたら、あなたと真美ちゃんが二人でラブラブしてるとこ。

じっくり、見れますもんね。

ああ…想像しただけでドキドキします。

真美ちゃんが気持ちよさそうによがるところも。

あなたが理性を捨てて腰を振るところも。

見たくて見たくてたまらない。

『耳舐め』

あん…れろ…ん…ちゅ…くちゅ…れろれろ…んはあ…ちゅう…れろ…ん…あむ…あん。

※SE・水音←

んつ…あう…ん…あうう…ひや、あんつ、あ、んう…ひやう…。

聞こえ、ますか？

今、自分でおまんこくちゅくちゅしてるんです。

乳首も…あんつ…一人でこりこりして。

あなたと真美ちゃんのエッチ、想像しながら。

ひやつ…あんつ、あう…あ、あ、んうう…あんつ、あ。

指じや、物足りないです。

あなたの大きなおちんちん、入れてほしい…！

犬みたいによだれ垂らして、腰ふつて。

何にも考えずに中出しして。

ね？ あなたも、そうしたいでしょ？

出来る事なら…真美ちゃんと一緒に犯してもらいたいです。

二人ベッドに並んで、あなたがおちんちんを入れやすいように脚広げて…。

最初は真美ちゃん？ それとも私？

好きな方に入れていいんですよ。

裸の私と、真美ちゃん。

ぱんぱんって、腰振つて。

射精して。

そしたらすぐにもう一つの穴に。

私は真美ちゃんの喘ぎ顔を見て、真美ちゃんも私のみつともない顔見て。

ああ毎日三人でそんなセックスできたら。

どれだけ幸せか。

だめ、いく、いつちやう。

んあ…はつ…はあ…はううつ…んつ…んふつ…ふつ…ううつ…。

ん、あう…うう…あんつ…ん…あつあつあつ…いい…あううう…や…ん…あんつ…。

いくううう…！

…つ！

『一呼吸置いて』

はあ、はあ…。
いつちやつた…。

『一呼吸置いて』

あ…。

すみません、止めるの忘れてました。

※SE..バイブ→

射精、してないですか？

映画が終わつたら、またトレイに来てください。

ちやんとおもらししてないか、チェックするので。

ふふふ。

では。

続き、楽しんでください。

『冒頭 3 秒沈黙』

※S E .. 扉を開く音

あら、ダメじやないですか、部活に遅れちゃ。
最近ちょっと遅刻気味ですよ。

まあ…でも。

あんなに可愛い彼女ができたんじや、無理もないんですけど。

あ、真美ちゃんから聞きましたよ。

昨日、初めてキスしたつて。

やるじやないですか。

付き合つてまだ二週間なのに。

正直、もっと時間がかかるかと思つてました。

この調子だつたら、初エッチもすぐですね。

でも…。

昨日の夕方にキス、ですよね。

それつて、美術室で私のおまんこを舐めた後に、キスしたつて事ですか？

だめですよ、もう。

大事な彼女さんなんですか。

初キスの前くらい、他の女の事なんて忘れないと。

え？

なんですか？

ああ！ そうでした、今日が約束の日ですね。
一ヶ月、よく我慢出来ました。

偉い偉い、です。

それじや、セックス。
しましようか。

ええ…。

では…準備室、行きましょう。

『3秒沈黙』

※SE..扉を閉める

あ。

セックス、する前に…。

この間教えた事を覚えてるか、テストしていいですか？

ふふふ。

それじや。
ちんちん。

してみてください。

※SE..衣擦れ

あら、ちゃんと覚えてましたね。
裸になつてしまがんで…。

でも…足の開きが足りなくないですか？
もっとおちんちんを見せつけるように…ね！

※SE..叩く音

あら？

躊躇して貰つたら何を言つたつけ？

『一呼吸おいて』

そろそろ。

『ありがとうございます』ですよね？

ん？

どうしてそんな切なそうな顔してるんです？

あなたも同意しましたよね？
私の言いなりになります、つて。

あ、もしかして…切なそうな顔してるのは、命令が足りないから、でしょうか。
もつと私の言いなりになりたい、ですよね？

それなら次は…。
服従のポーズ♡

※SE..衣擦れ

ふふふ、ちゃんと脚大きく広げられましたね。

仰向けてゴローンして、足も手もワンちゃんみみたいに曲げて…。
人としての尊厳は全部捨てなきやダメですよ？
分かりましたか？

よしよしー。

すっかり変態さんになりましたね。

良い子良い子。

それでも…せつかく可愛い彼女が出来たのに。
こんな事しちやつて。

でも…仕方ないですよね。

すぐ隣に可愛くておっぱいが大きい、いつでもエッチしてくれる女の子がいるのに。
貞操帶のせいでできませんでしたもんね。

あなたは、私で発散するしかないですから。

だから、あなたは何も悪くないんですよ?
なんにも。

ただただ、正直になつただけ。
欲望、に。

でも…。

予定より早くてよかつたです。
もつとゆつくり焦らしていかないと、つて思つてましたから。

《一呼吸おいて》

はい?

《笑いながら》

ああ…いえ。

つまり。

私は、あなたをペニットにするつもりだった、つて事です。

《一呼吸おいて》

ふふふ。

ぱかんとした顔してる。

もしかして、私がただ思い付きで射精管理したり、真美ちゃんとくつづくようにしたと、
思つてるんですか?

あなたつて…本当…。
純粹な方ですね♡

さ。

久しぶりのおちんちん、どんな感じになつてるでしようか…。

※S E・金属音

あらあら…まあ。

我慢汁でべつとり。

それに…外しただけでむくむくーって大きくなつて。

すごい。

これが今から私の中に入るんですね。

※S E・手コキ ←

こら、脚閉じちゃダメですよ。
まだ服従のポーズです。

ずっと…ずっと。

《キス》

んふ…れる…ちゅ、んむ…んん…れる…んんん…。

ねえ…。

私はですね。

あなたを飼育したいんです。

そう。

し、い、く。

昔、グッピー飼つてたんです。

誕生日に買つてもらつて。

とても嬉しくて、毎日世話をして、餌を与えて。

でもある時ふと思つたんです。

私が世話をしなくなつたらどうなるんだろう、つて。

で、実際やつてみました。

餌もやらず、水も変えず。

そしたら、みるみるうちに元気がなくなつていつて。
隅っこにじつと縮こまるようになつて。

それで…あつという間に死んじやいました。

その時、心底思つたんです。

ああ…愛おしいつて。

だつて、私の気分一つでその子はもつと長く生きられたり、もつと早く死ぬ事もあつたん
ですよ?

私の手のひらにある、唯一無二の命が、愛おしくない訳がありません。

それから…ずっと思つてました。

同じ事を、人出来ないかつて。

別に命が奪いたわけじやないんです。

ただ、私の言いなりになる…従順なペツトが欲しかつた。

けど、どうしていいのか分からないまま時間が過ぎて。

そして、あなたが入部してくれました。

ふふつ。

私のスク水を嗅いで、オナニーしているあなたを見た時。
思つたんです。

見つけた。

私の理想の人だ、つて

あなたの変態オナニーを見てからずつと。

どうやつたら私の物に出来るか。

ペツトにできるか。

そればかり、考えていました。

ただ付き合うだけじやダメなんです。

だつて…恋心なんていつか消えてしましますから。

たとえあなたが私に夢中で、何でも言う事聞いてくれたとしても。

あなたが飽きてしまったらそれでおしまい。

あなたをゲージに入れたり鎖につないだり…そうやつて身体的に拘束するわけにはいきませんから。

心を支配する方法をずっと考えていました。

そんな時に真美ちゃんがあなたに好意を抱いていると知つて…。
思つたんです。

餌を与えればいいんだ、つて。

最初は真美ちゃん。

そして、これから先…もし真美ちゃんに飽きてしまつても。
またあなたには、次の子をあてがつてあげます。

そして、あなたが逃げだして、誰かに告げ口したら。
私はこう言うんです。

二人つきりの部活で襲われたんです、つて。

それから彼の要求に逆らえなくて、女の子も用意して。

もちろんあなたは反論するでしょうけど…大人はどっちを信じるでしょう?
いたいけな女の子と、性欲にまみれた男の子の言い分。
私、結構嘘は得意なんです。

隠し事も。

知つてました?

：知つてますよね。

ふふふふふふ。

まあでも、そんなのはいらない心配、ですよね。
だつて…この状況、あなたは幸せでしょ?

真美ちゃんとも私とも、セックスできて、真美ちゃんに飽いても次の子があてがわれて。
あ、そうだ。もう少し、時間が経つたら、三人でセックスしましょう。

大丈夫、私ならいい感じに言い繕えます。
良かったですねえ、可愛い女の子と3P。
男の子の夢、でしょ？

つて、あらあら…。

おちんちん、パンパンですね。

こんな立派な物見せつけられたら…。
我慢できなくなるじやないですか。

制服。
脱ぎますね。

※S E.. 衣擦れ

≪一呼吸置いて≫

あらどうしました？

一緒に…初エッチの服選んだの忘れてました？

どうでしょう。

似合つてます？

スク水。

それじや…。もう一度。

ちんちん。

してください。

※S E.. 衣擦れ

そう…そのまま。

ちんちんのボーズで、私を見てて。

ほら、机の上に座つて。

足も開いちゃいます。

それで、股の所をずらして…。

※S E .. 衣擦れ

ああ…やだ。

おまんこ、こんなにヌルヌル。

ほら、ここですよ。

一ヶ月我慢できたらご褒美♡

この穴に、入れていいんです。

勿論、ゴムなんていりません。
そのまま：おちんちん挿入して。
中出し、するんです。

分かりましたか？

それじやあ…。

命令。

お、ま、ん、こ。
しなさい。

※S E .. 衣擦れ

※S E .. 挿入

きや…！

んっんっ…あ…ひやう…ん…あ…あ…あ…あ…い…あ…う…や…ん…あ…ん…。

はげ、しい…！

ん、あ…う…う…あ…ん…ん…あ…あ…あ…あ…い…あ…う…う…や…ん…あ…ん…。

ああ…いい…。

動物、みたいに、ぱんつ、ぱん、つて…。

ほら、何を我慢してるんですか？
早く、出しちゃいなさい。

一ヶ月もため込んだおちんちんが。
そんなに我慢できる訳、ないでしょ？

※ S E .. セックス →
※ S E .. 射精

ひやつ、あ、んう…。

ああ…どくどく、いつてる…。

ん、あ。

あつつい…。

すごい…まだ出てる…。

私の中に、濃い精子が注ぎ込まれて。

ああ…いい…。

最高。

…ふふふ。

命令。

二回目、しなさい。

※ S E .. セックス ←

あつ…んう…あ…やつ…んう…あんつ…くうう…あう…んつ…うう…あう…んつ…やつ。

やつぱり…一回いったのに、全然、小さくならない。
むしろ、大きくなってる…！

ふふふ。

童貞おちんちんだつたくせに。
やみつきになつて。
可愛い♡

んふつ…ふー…ふあつ…あ、はつ…にやつ…はつ…あ、あつ…んつ…く、ふつ…やあつ…

あ…。

ほら、いっていって。
何回でも中出し、して。
もつともつと腰振つて。

あなたの目の前に今いるのは、ご主人様でも、彼女の親友でもなくて。
ただの、メス穴。

そうですよね？

はあ…はあつ…んつ…はあつ…あ、んふううう…んあつ…はつ…ひあ、ああつ…う、んん
つ…。

いく？ いつちやう？ 一回目？
いいですよ…いって…！

※ S E .. セックス →
※ S E .. 射精

ひやつ、あう…！
つ…あ、ん…あ…。

二回目も、すごい…。
大量…。

※ S E .. セックス ←

あ、あ、すゞ。

出しながら、腰振つてる…！

あ…ん…あ…や…ん…あ…ん…く…う…あ…う…ん…う…あ…う…ん…や…つ。
ん…ん…あ…ひ…や…う…ん…あ…う…い…い…ん…あ…あ…あ…ん…う…う…あ…う…。

《キス》

あ…ん…く…ち…ゅ…れ…ろ…ん…ち…ゅ…ん…ち…ゅ…。

もつと…。

キス。

ちゅー。

《キス》

あむ…くちゅ…んつ、れろ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…ん…れろれろ…。

あ、またおちんちん、びくびく…。

チューしたら、精子たまつた？

エッチ。

変態。

※ S E .. 射精

あ、んう…。

だめ、止めちや。

まだ…まだまだまだ…。

全部、出しきつて…！

空っぽになつても、腰振つて…。

あなたなら、出来るでしょ？

…いいえ。

しなさい…！

命令…！

あつあつんう…やつあつ…うううあんつ…や…ううあつあつあつあつあつ…ううう…。

《キス》

はあ…ん…ちゅ…くちゅ…うん…あん…ちゅ、あむ…んつ…はうう…ちゅ…ふう…んうう
…。

囁き ← *****

いい…！

これが欲しかったの…！

私の命令通りに。
腰を振るオスが。

ああ…素敵。

最高。

ようやく手に入った。
私だけの、ペット。

ねえ。

これで終わりだなんて、思わないでね。

これから先、ずっと。

私の命令は、絶対。

私のおまんこが。

あなたの帰つてくる所。

他の女をどれだけ好きになつても。

最後はここで、射精するの。

分かつた？

あつ…んう…あ…やつ…んう…あんつ…くうう…あう…んつ…うう…あう…んつ…やつ。

ふつ、ふふふふふふ。

それじや、もっと腰。

振りなさい。

んああつ…ひや、ああ、ああああつ、くふつ…はあつ…はあ…んつ…はつ…はあ…く、ふ
…はあ…んうう…はあ…はあ…はあ…んつ…はあ…あ、んふううう…。

最高；最高最高。
幸せ。

愛して
るわ。
ハツト君
♡

《冒頭 3 秒沈黙》
《以下全部真美》

あ、もしもし？

ごめんねこんな時間に。

ううん、何となく……声、聴きたくなつて。

…?

なんか運動してた？

いや、何となく、息荒いなあと思つて。

腹筋？

いつもしてるの？

へえ、ううなんだ…。

じやあ今度お腹見せてもらおうかな。

なんて…。

へへへ。

でもダメだよ。もう遅いんだから。

明日も学校なんだし。

うん…。

あ。

ん?

あれ…。

あ、ごめん、なんでもない。

いや、ハルちゃんの部屋から今一瞬変な音聞こえて…。

電話からも聞こえた気がしたからどっちだらうつて。

ごめんごめん、気のせいだと思う。

『一呼吸おいて』

ねえ?

今度さ、二人でプチ旅行行かない?

再来週の三連休。

どつか、海とか。

夜はさ…その。

カラオケとか、泊まつたり。

『笑いながら』

うん、年ごまかして。

なんだつたらさ…。

安いホテルとかでも…全然。

…。

な、なんてね。

まあ、とにかく、さ。

ずっと一緒にいようよ。

ね？

『一呼吸おいて』

へへへ。

やつた。

ねえ、まだ腹筋してる？

いや、たまに声遠くなるし。

息荒いし。

それに…ちょっとエッチな感じ。

へへへ。

ううん、いいの、そのまま聞かせて？

うん、このまま寝落ちしたい。

君の声聞きながら。

…うん。

ありがと♡

じゃ、お休み…。

あ。
ねえねえ。

大好き♡
だよ。

≈一呼吸おいて≈
へへへ。

幸せ。